



下諏訪 ぎわし

Vol.47

2025
3月定例会

目次

- 2～3P … R7年度予算
- 4～5P … 議員が注目の議案！
- 6P … 陳情・意見書案の審査結果
- 7～13P … 一般質問
- 13P … 議会だよりモニターご意見
- 14～15P … ぽけっと視察・各種懇談会

特集

R7年度予算
町政史上最大
99億 8600万円





総合文化センター改修工事 8億7,726万円

令和7年度は、小ホール、エントランスホールや外壁の改修を行います。
令和8年3月完成予定です。



令和7年度予算 最大の99億

一般会計予算決算審査特別委員会

歳入では、町税を前年度と同程度の25億2670万円と見込み、地方交付税24億円、国庫支出金10億4431万円、県支出金4億4149万円とし、足りない財源を基金繰り入れ6億6147万円と町債12億2580万円に求めています。財政調整基金の取り崩しを見ても厳しい予算です。
討論では、イタリヤとの交流は、文化・経済など多分野の友好を願うが、町民の厳しい生活状況を考え、派手にならず必要最小限の人員で行ってほしいとの討論やプラスチック資源物収集が開始されるが、分別化によるごみの資源化と減量化が進むことを大いに期待する等の討論がありました。

町政史上 8600万円



議会に提出された令和7年度一般会計予算は、町政史上最大の99億8600万円です。その内容は新規事業50件、拡充事業35件及び継続事業45件の130事業となりました。金額の大きい事業では、総合文化センター改修の8億7726万円をはじめ、障がい者自立支援給付4億9320万円、高木橋架け替え3億8163万円、後期高齢者医療運営3億5079万円、保育所管理運営3億2818万円や児童手当支給3億2500万円などがあります。また借金返済の公債費は10億円を超えました。大型事業や新規事業などを紹介します。



高木橋架け替え事業 3億8,163万円

令和8年度完成予定で、工事総事業費は約14億円となります。令和7年度は、新しい橋の添架を予定し工事を進めます。

新



中学3年生給食費無償化事業 1,071万円

保護者の経済的負担の軽減を目的に給食費の無償化を実施します。未来を担う子どもたちの健やかな成長を支え、家庭の負担を軽減することで、より充実した学びの環境づくりを進めます。

新



プラスチック資源物収集事業 782万円

環境負荷の低減と循環型社会の実現を目指し、家庭から排出されるプラスチック資源物の分別収集を推進します。持続可能な社会の構築に向け、適正なリサイクルの促進と住民の意識向上を図り、資源の有効活用を進めます。



グランドデザイン策定事業 718万円

みんなが誇りと満足感を抱ける「住みたい町、元気な声がひびく町」の実現に向けて、10年、20年後の将来あるべき姿等をデザインし、その実現に向けてまちづくりを推進するものです。

新



医王渡橋等改良事業 3,202万円

令和3・4年度で行った二巡目の法定点検の点検結果に基づき、橋りょう長寿命化修繕計画を令和5年度に策定し、令和6年度に設計。計画的に修繕を実施します。

新



こどもの居場所づくり支援事業 600万円

地域の子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるため、居場所づくりを支援します。学び支援や交流の場を提供することで、子どもたちが健やかに成長できる地域づくりを進め、誰もが安心して集える環境を整えます。

新



1か月児健康診査事業 59万9千円

生後1か月の乳児を対象に健康診査を実施し、早期の健康管理と保護者の育児不安の解消を図ります。乳児の健やかな成長を見守るとともに、必要な支援につなげることで、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

新



電気自動車購入事業 338万円

2050ゼロカーボンの達成を目指し、地球温暖化対策に資する施策の一環として、車両更新計画に基づき、より環境負荷が低い軽電気自動車を新たに購入します。

新



移住交流総合拠点整備 735万円

旧矢崎商店の国登録有形文化財への登録を見据え、建物の文化的価値を残しつつ、必要な耐震性を持たせるための設計図や仕様書の作成（実施設計）を進めます。

議員が
注目の
議案！

40議案を審議全て原案通り可決・同意



詳しくは議会 HP へ

国保税の値上げを可決
来年度の国保特別会計予算も

国民健康保険制度を維持するためには税率改定が必要となる。当面の財源不足を補うことを基本に県の「保険料水準の統一化に向けたロードマップ」及び県から示された標準保険料達成に向け、「資産割の廃止」「応益割の平準化」に向けた取り組みも進める必要がある。来年度、平均2・63%引き上げの税率改定を行うための改正で、特別会計予算も改正を念頭に組み立てられている。

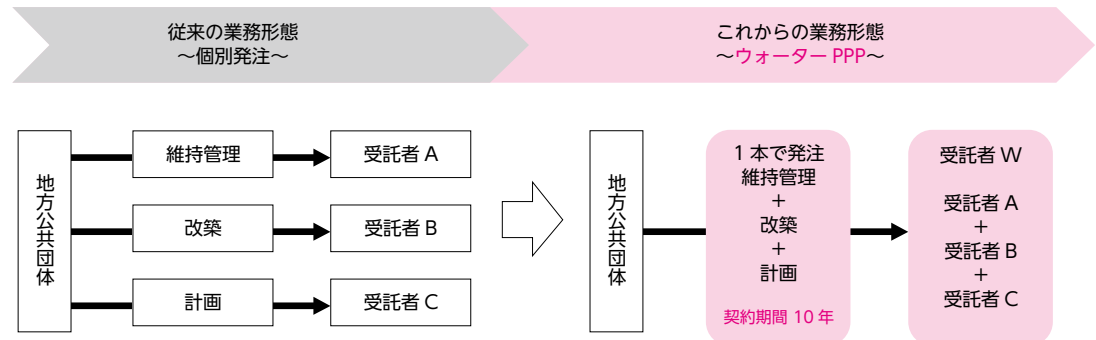
反対討論 元々高すぎる国民健康保険税。しかも物価高騰で更なる負担増を被保険者に課すべきではない。来年度からは納期を12期から9期に減らすことも決まっております、さらに負担感が増す。今回の税率改定は、資産がない世帯や多子世帯の負担が大幅に増える。

賛成討論 資産割の廃止は、子育て支援金制度創設などの関係で、仕方ないものと理解。審議会答申にある激変緩和措置は、十分とは言えないものの、対策がとられている。納期変更には十分配慮して進めてほしいことと、納税者には物価高騰対策の支援など、配慮していただきたい。町の国保制度を維持するためにはやむを得ないと考える。

採決 賛成多数で可決。

R6年度の下水道事業会計補正予算
（第3号）
ウォーターPPP導入で賛否

ウォーター PPP ってなに？



R9年度以降の下水道管改修工事に対する国庫補助は、ウォーターPPPの導入が決定済みであることが要件化されており、制度を導入して事業を進めるための補正。ウォーターPPP導入の一般的なメリットは、人材不足による技術的な対応力の低下の課題が解消されるなど。デメリットは、一斉に導入されることで、受け入れ業者が確保できるか懸念がある。

反対討論 重要なライフラインは公共性が高いため、民間事業者の参入には反対。

賛成討論 ウォーターPPPのメリット、デメリットを調査して判断するとしているため、公共性を保ちながらしっかりとした調査を。また、財源は10分の10の国補助で有利であることから賛成。

採決 賛成多数で可決。

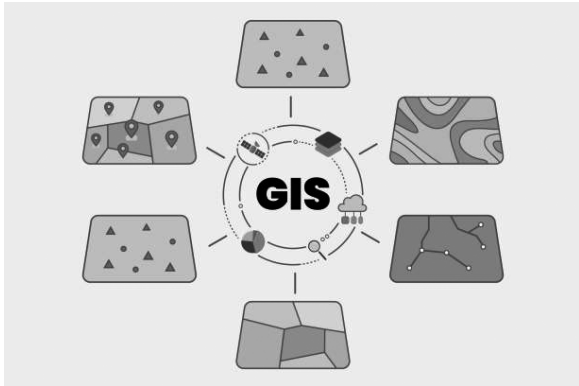
温泉事業特別会計予算

GISの構築で
漏湯範囲をデータ化

GISの構築では、R7年度は漏湯範囲のデータ化を実施。携帯でも位置が確認できる。

今後の公営企業化に向けてのスケジュールとして、R7年度は、固定資産台帳の整備、組織体制、担当

GIS（地理情報システム）とは



地理空間情報を重ね合わせ表示するシステム

水道事業会計予算

厳しい会計状況続く

職員の研修など、R8年度に会計システムの構築、条例整備、R9年度から運用を開始予定。
公債費では、R14年にはこのまま借入れをしなければ起債（借入金）は全額終わる予定としている。
今後は加入口数を増やし、また余剰口数の減少に力を入れてほしい。経営戦略に沿って事業を進めている状況が確認できる予算であることから賛成との討論があった。

未収金については、大きく改善されていない状況であるが、随時、滞納分の集金などにより収納率を上げるようにしていく。原水及び浄水費の増は電気代、アセットマネジメントの見直し、個別施設計画の策定業務のほか、薬品の多くが値上がりとなっているため。
料金改定により収入は伸びているが、物価高騰の影響により歳出も増えており、厳しい会計であることは理解して賛成との討論があった。

駐車場事業特別会計予算

使ってもらえる駐車場に



四ツ角駐車場

歳出の委託料は、シルバー人材センターへの委託料で、人数に増減はないが、単価のアップ等による増額。消耗品費では駐車場内の立て看板の更新、修繕料は表示看板等の駐車場内の修繕などを見込んでいる。

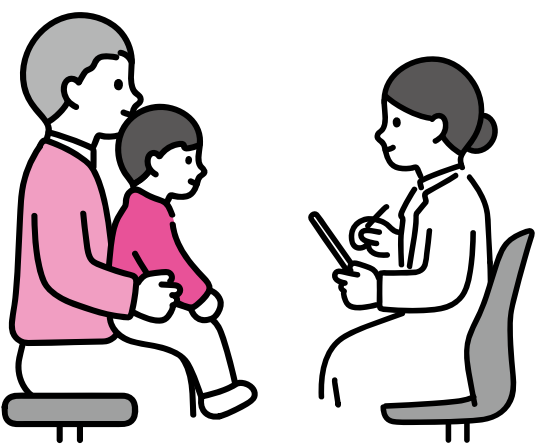
使用料の増に期待しながら、観光面、商業面に寄与する駐車場であり、使ってもらえる駐車場となるよう期待する賛成討論があった。

条例改正

職員の勤務条件を改善

町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例では、子の看護休暇などは、規則の改正により特別休暇の対象を小学校就学の始期に達するまでの子から9歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子に拡大した。

介護休暇は、正規職員は有給扱い、会計年度任用職員は、特別休暇ではあるが無給の休暇となる。



一般質問12の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！
3月定例会でも、あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と真剣な議論を展開。
今後の町の動向にも注目！

P13 人口増加
P12 商連の倒産
P12 発達支援
P11 国保の改善
P11 観光戦略
P10 ジェンダー
P10 子育て環境
P9 脱炭素社会
P9 移住促進
P8 新年度予算
P8 まちづくり
P7 満足度調査

皆さんは
どのテーマに
関心が
ありますか？

各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見るすることができます。

下諏訪町議会
議会中継
チャンネル



満足度調査



はやし よしひろ
林 吉広



子ども達が
住みたい町は
若者が帰って
来たいと思える町に

通学路への防護柵設置

Q 通学路へのガードレール等の設置について町の考えは。
A 建設水道課長 昨今の交通事情を受け、通学路へのガードレールの設置の必要性は感じている。道幅が狭い等で設置できないところには、ラバーポールやグリーンベルトなどを検討している。子ども達等の安全意識の向上を、警察や安協等と協力して進めていく。



10年後も住み続けたい町に！！

陳情・意見書案の審査結果

陳情 「福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情」

国は子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を廃止したが、その他の医療費助成については減額調整措置が残されている。減額調整措置は自治体の医療費助成に対してペナルティをかけるものであり、制度拡充の壁になっている。よって、以下の事項を求めるもの。

- 1 福祉医療給付制度（子ども医療費助成、障がい者医療費助成等）を国の制度として確立すること
- 2 子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止に留まらず、障がい者等その他の医療費助成に係る同保険の減額調整措置についても、すべて廃止すること

反対討論 制度改正のメリットは理解できるが、国保の財源確保という部分が見えない。町の国保運営は、根本的な制度改正が望まれるものであり、そこに繋がらないのではないかと考え反対。

賛成討論 国保の財源確保は大事だが、この陳情は、全国一律で同じサービスが受けられるよう根本的な制度の改正をして欲しいという趣旨の陳情であり、全国知事会・市長会も要望しているため賛成。

採択 賛成多数で採択

意見書 陳情の採択を受けて、花岡進議員から意見書案が提出されました。
賛成多数で可決。国および関係省庁に意見書を送付しました。



意見書 「高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書」

高額療養費制度は、がん患者をはじめとして重篤な疾患の患者にとってまさに命綱であり、自己負担上限額の引き上げは受診抑制や治療継続の断念等につながるため、引き上げをしないことを求めるもの。

反対討論 財源根拠や代案が示されていないこと、より深い議論がなされていない。

賛成討論 国の方針が迷走しているが、将来的にも平等に高額療養を受けられるようにしてほしい。



生活文教常任委員会から意見書案が提出され、賛成多数で可決。
国および関係省庁に意見書を送付しました。

3月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等	議員名（議席順）	樽川信仁	高橋幸二	林吉広	花岡進	竹元完奈	大橋和子	金井敬子	豊島健之	野沢弘子	松井節夫	中山透	青木利子	林元夫
国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○
国民健康保険特別会計令和7年度予算	可決	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○
下水道事業会計令和6年度補正予算	可決	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○
福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情	採択	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○
福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める意見書	可決	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○
高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書	可決	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。



とよしま たけゆき
豊島 健之

まちづくり

**町長公約ファ
ンドの構想は**

答弁 住民発の事業
実現ツールの一つに

Q 一定の歳出に対して歳出額以上の付加価値をつける「投資的な要素」を有するファンドを今後のまちづくりに展開できないか。

A 町長 まちづくりファンドの構想は、住民の皆さんと一緒に描く将来図を、絵に描いた餅にしたいという想いが出発点。その将来図の具体的なイメージや計画が、個人の域を超えたもっと大きな事業になる場合は、「投資的な資金」も必要かと考えている。今後はどのような性格のまちづくりファンドが当町に合っているか、有用であるかということも考えて、研究・検討していきたい。

盛土斜面関連の法改正

Q 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）施行の意義は。



県と連携した早期復旧を！

A 建設水道課長 従来、本法の規制対象は宅地造成のみであったが、施行後は土地の用途に関わらず、全国一律の基準で包括的な規制が可能となる。

Q 向陽高校のり面崩落事故復旧工事への影響は。

A 建設水道課長 公共施設用地における工事は本法規制対象外となるので、復旧工事は予定通り今年8月の着工を目標としている。



あおき としこ
青木 利子

新年度予算

**元気な声が
響くまちとは**

答弁 産み育てやすい
環境づくり

国道20号バイパス

Q バイパス通過で1区の内久根墓地付近への影響は。

A 建設水道課長 墓地への影響は「相当数」ある。

Q バイパス完成後のホシヌメバに道の駅構想があったが。

A 町長 用地購入後に「道の駅」構想もあった。社地区グラウンドデザインの中で住民と一緒に活用を検討を進めていきたい。



居場所づくりを進める場

女性と若者が暮らしやすく

Q 住民の交流や参加・参画を促進し、意見や要望を可視化するイベントやワークショップは。

A 町長 「おでかけ町長室」は女性や若者に限らず広く行い、町に出かけて聞く。次期総合計画に反映させるため、町民の皆様の声を聞く場を設けていきたい。



たかはし こうじ
高橋 幸二

移住促進

**お試し移住制
度の再開は**

答弁 コロナで中止
再開は慎重に検討

Q 移住促進のターゲット層は。

A 町長 人口減・高齢化対策も兼ねて展開。明確なターゲット層は定めていない。歴史的風土から町に魅力を感じている方に住んでいただきたい。

Q 移住定住施策以外の町の活性化対策として重点的に進める施策をどのように考えるか。

A 町長 国全体で人口減少にあり下諏訪町の人口増は難しい。少子化対策は喫緊の最重要課題。

ホシヌメバの現状と課題は

Q ホシヌメバの現状は。

A 産業振興課長 現在3名が入居。町に愛着を持っていただき、天文イベント等を企画、町に寄与したいと思って行動している。

Q 今後の利用促進等の考えは。



年に1度の移住イベント
(ふるさと回帰フェア)

A 町長 専門知識を持った素晴らしい方々が入居してくれている。地域住民との交流等工夫する。

災害時の支援体制は

Q 災害ボランティアセンター設置の候補地は。

A 総務課長 災害時は人命第1で活動していく。災害・被災状況に応じて、町と社協で慎重に検討していく。



まつい せつお
松井 節夫

脱炭素社会

**ゼロカーボン
R7の施策は**

答弁 プラ分別と
デコツリーズム(※)

※デコツリーズム…住民や旅行者にデコ活を体験してもらう諏訪市発祥の事業者参加型の観光形態。

不登校の子どもの対応

Q 不登校の子どもの状況は。

A 教育長 小学校各学年に1名、中学校学級に平均2名。

Q フリースクールの状況は。

A 教育こども課長 諏訪圏域に13事業所。下諏訪町にはない。

Q 子どもや保護者への支援は。

A 教育長 SOSを見逃さず、チーム学校で。リモートでも相談。



向陽高校通学路の早期復旧を望む



金井 敬子

子育て環境

要求に沿う環境づくりを

答弁 柔軟な対応と課題の抽出で

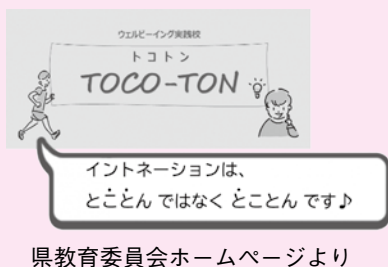
Q 家庭で不要になった未使用のおむつを回収し活用する「おむつバンク（仮称）」の実施を。
A 教育こども課長「ぼけっと」で、おむつやベビー用品等の提供があり、仲介している。拡充には、柔軟に対応する。

Q 来年度の保育園・学童は、保護者ニーズに応えられるか。
A 教育こども課長 保育園は、第一希望の「空き待ち」が数名いるが、未満児を含め全員受け入れ可能。ただし、育休退園廃止は、現時点では確約不可。学童も、希望者全員の受け入れ可能。

地域も共に学校づくり

Q 長野県が導入する「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON N（トコトン）」は、児童生徒、先生、

保護者、地域住民の協力による学校づくりをうたう。問題点の指摘もあるが、町の受け止めは。
A 教育長 実践校に選ばれると教員が加配されることは大変魅力的で、当町でも手を挙げた。選考からは漏れたが「やる気」が評価され、常駐ではないが伴走型支援が受けられる予定。今後、更に「探究的学び」の実践を進めたい。



県教育委員会ホームページより



竹元 完奈

ジェンダー

女性支援基本計画策定は

答弁 男女共同参画計画で研究していく

女性や若者が集い元気な声が響くまちづくりの実現に資する。
住民に寄り添った情報発信

Q 町公式LINEの活用は。
A 総務課長 スマホの普及に伴いLINEは多く活用されているが、運用面、コストに課題があり検討する。現時点では「しもすわインフォ」を中心に行う。



全庁的なジェンダー主流化を！

Q R6年度に施行された女性支援新法において、公的な女性支援の目的が、売春防止から女性福祉向上へと大きな転換となった。当町における女性支援の現状は。
A 総務課長 県の相談機関などと連携して対応。こども家庭センターでもDV被害や困窮世帯に対し相談機関と連携支援する。
Q 町女性支援基本計画策定は。
A 総務課長 町独自の計画策定予定はないが、第7次男女共同参画計画の中に位置付けるなど研究していく。
Q 第8次総合計画策定に際して、全庁を挙げたジェンダー主流化に対する町長の考えは。
A 町長 第8次町総合計画の中で、ジェンダー主流化の視点で町施策を確認していくことは必要。



大橋 和子

観光戦略

定住自立圏構想実現を

答弁 広域で意見交換をしている

Q 体験型観光におけるインバウンドの対応をどのように考えるか。
A 産業振興課長 星ヶ塔、中山道やしもすわ今昔館おいでやを進化させた取り組みをしている。

Q 文化や散策等に役立つピクトグラム、英語の文章を入れた案内を作ってほしい。食の点で原材料についてもピクトグラムで説明することも重要。インバウンドをどのように推進するか。
A 町長 言葉の上で対応ができないこともあるので国際観光推進協議会の通訳サービスを導入。観光セミナーを開催するなど、町を満足していただけるようにしたい。

Q 町は長野県の定住自立圏構想についてどのように捉えているか。
A 総務課長 人口の定住化を図る上での一つの方法。富士見町と



外国人観光客の来町も増えてきた

原村が北杜市と自立圏を形成。
Q 町の方向性は。
A 町長 自立圏の枠組みや中心市選定等課題がある。諏訪広域連合の協議の場で意見交換したい。

Q 片倉館、シルクファクトおみや、旧矢崎商店による2市1町の連携はできないか。
A 産業振興課長 歴史文化に触れて、改修後のトライアルイベントにより、今後検討を進める。



花岡 すすむ

国保の改善

国保税引き上げの影響は

答弁 県統一のため値上げはやむを得ない

化していくが、町独自の支援策は県統一化推進のため困難。
自治体DXへの対応は

Q 政府共通クラウドサービスの利用料は過大にならないか。
A 総務課長 当初の想定より費用は抑えられていないのが現状。R8年度以降、構築費の持ち出しや経常経費は増加の見込み。

安心の医療への施策は

Q 高額療養費限度額引き上げ中止を国に求める考えは。
A 町長 国会で審議中であり首長が見解を述べる立場ではない。
Q 引き上げによる受診控えが起らないよう町独自に支援する考えは。
A 住民環境課長 相談体制は強



安心の医療への施策を



のざわ ひろこ
野沢 弘子

発達支援

- Q** 当町の乳幼児期から成年期までの切れ目ない支援体制は。
- A** 教育こども課長 せせらぎ園で未就園児親子の相談支援。のびのびくらぶで就学前の発達支援。児童発達支援事業所は、信濃医療福祉センター。こども家庭センターで相談を受けている。
- Q** 通級指導教室と、幼児期からの支援の取り組みは。
- A** 教育長 4小中学校に、ことばの教室、LD等通級指導教室の2つが設置されており、幼児期には認知機能強化等をゲーム感覚で学習、ビジョントレーニングで集中力がついたという評価も。
- 避難所の熱中症対策**
- Q** 避難所の小中学校の体育館にエアコン設置と断熱化工事を。

子どもと保護者の相談場所

答弁
今年度設置の
こども家庭センター

A 教育こども課長 研究する。
洋式便器への改修は

Q 下中一年女子トイレの洋式便器は1基のみだが、改修状況は。

A 教育こども課長 R7年度は洋式便器が3基増で4基となる予定。

Q 文化センターの便器改修は。

A 教育こども課長 今回の改修ですべての便器を洋式化する。



改修工事中の
下諏訪総合文化センター



はやし もと お
林 元夫

商連の倒産

- Q** 下諏訪商連の売上や資産は。町からの補助は。運営状況の把握は。
- A** 産業振興課長 R5年売上710万円、資産280万円に減少。補助金はカード作成時に600万円、最近45万円。赤字補填が来ない状況は把握。
- Q** 今回の倒産による、町としての町民を守る視点での問題はなかったか。もっと早い段階でのテコ入れはできなかったか。
- A** 町長 商連の方向性が定まらなかった。町全体の活性化などを試みたが、想定以上に悪化し、町民に心配をかける事態になり反省している。これからは動向を分析するなどして、商業支援していく。

早い段階でのテコ入れは

答弁
方向性が定まらず
心配かけた

危機管理室の独立を

Q 体制的強化や地区防災推進のために、町と常時、地区と連携する独立した危機管理室の設置を。

A 町長 独立組織設置には相当な職員配置が必要。現在防災地区担当職員を配置しているので地区との情報共有の強化を図り、災害時に備える。



使えなくなった
しもすわ商連カード

議会だよりモニターの皆さんより

本誌「議会だより」は、13名の方にモニターになっていただき感想やご意見を伺っています。R6年12月号(46号)に対するアンケートの結果は以下のようになりました。



Q 興味関心をもった記事は？

A あの人この人に聞いてみた(8名)

一般質問 (7名)
この町に住んで思うこと(5名)
広報より…町で活躍する人などが、何に問題意識を持っているかに関心があるようです。企画は良かった反面、「詰め込みすぎて表面的になっているのでは」という指摘も。

Q 読みづらかった記事は？

A 議会と各種団体との懇談会(4名)
議案等審査報告(2名)

一般質問 (2名)
広報より…一般的には聞き慣れない言葉が多く戸惑った」、「専門的

すぎて分かりづらかった」という意見です。今後はもっと分かりやすい言葉を用いて、読みやすい文章作りを心掛けます。

また「伝えたいことが何なのか分かりにくい、ただ会議をしたという事実を伝えたいのか」というご意見。議会は、住民の皆様からの信頼を得るためにも、公開の場となる「懇談会」を広く設けるよう努めています。「懇談内容の今後が重要」という意見が出ています。住民の皆様のご理解を得られ、説明責任を果たせるよう努めます。

Q 今後取り上げて欲しい内容

A 水道等のインフラ問題
空き家の活用・子ども食堂
学生向けの企画・子どもの声

中山道のごみ問題

一般質問のその後・結果
広報より…色々なご提案、有り難うございました。諸問題の改善に向けて努めます。

人口増加



なかやま とおる
中山 透

Q 人口増の取り組みについて。

A 総務課長 地域コミュニティの維持、時代に即したまちづくりを住民と共に進めていきたい。

Q 地域資源を生かした下諏訪モデルの構築は。

A 町長 移住定住促進、暮らしやすい環境の構築を目指す。

犯罪抑止の各種施策

Q 再犯防止計画の策定は。

A 住民環境課長 福祉計画と関係する団体が重複するため、一緒にファイリングすることを考えている。

Q 再犯防止計画の町の考え方、パブリックコメントは。

A 住民環境課長 策定までに、ワーキンググループで6回程度協議、パブリックコメントを行い、



防犯カメラの設置により犯罪抑止を

下諏訪向陽高校との懇談会



2月27日に下諏訪向陽高校生徒会と議会との懇談会を開催しました。
4つのグループに分かれ議員からの質問を投げかけ、向陽高校生とディスカッションしました。
高校生の若者達の意見を議会として受け止め、未来のまちづくりに反映させていただきます。



グループ 1

生徒6人 議員：林（吉）・花岡・金井

1 町の理想像

イオン閉店で買い物ができる所がない。
レイクウォークなどに行く。下諏訪も娯楽や買い物ができるようになったらいい。

2 どんなことができる場所が欲しいか。

学校帰りに友達同士で勉強できる場所が欲しい。
イオンにフードコート、ゲームセンター、洋服店など。チャレステしもすわは近寄りやすい。学校帰りのバス、部活後の夜の便を増やしてほしい。

3 下諏訪町の好きなところ

子どもも大人も楽しめるイベントをよくやっている。ヨルクレバはすごく楽しかった。



グループ 2

生徒6人 議員：野沢・青木・林（元）

1 温泉の活用

高浜のゆたん歩は安くてきれい雰囲気がいい、また行きたい。食祭館の足湯も気持ちいい。サウナブームなので、下諏訪も作ればいい。

2 町の活性化

駅の2階に交流する場を設けて。学校帰りにお腹がすく。朝のバスの便数が少ない。夏詣の時に、空き家を使ったお化け屋敷イベントをしたら面白い。産業まつり、向陽高校ブース設けたら力になる。

3 町へ要望

参考書や文房具を買う場所がない。駅近くに勉強のできる場所を。駅の自転車置き場、きちんと置けるスペースを。昨年の土砂崩れの復旧工事を早期に。



グループ 3

生徒7人 議員：大橋・松井・中山

1 町に対して望むこと

自転車置き場を整備、明るく、使いやすくして欲しい。サッカー練習場やスケボーなどのスポーツ場整備を。通学路の照明は用水路などで転ぶ人もあるので、等間隔で大きい照明が欲しい。

2 大人になってもこの町に住みたいと思うには

大型商業施設、アミューズメントパーク、保育園、子供連れに安全な公園の完備、若い人が楽しめる、高齢者が楽しめるものが共有される場所があれば、年をとっても下諏訪に居られる。

3 居場所の必要性は

電車の待ち時間を使いたいのので駅近くで勉強できるスペースが欲しい。



グループ 4

生徒6人 議員：樽川・竹元・豊島

1 他校との交流を持ちたいという希望について

諏訪圏域の高校同士の交流。中学生と高校生の交流があるといい。向陽祭で中学時代の友達と交流会や、探求授業の意見交換などしたい。

2 高校生の居場所の必要性は

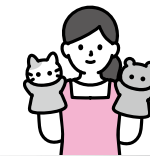
下諏訪には居場所がない。電車待ちの間、勉強できる場がほしい。駄菓子屋などがあれば、勉強の合間にリフレッシュできる。

3 今の日本社会や、自分の将来をどう感じるか

将来AIが発展して、自分たちの仕事が奪われるのではないかと不安。日本だけの社会を見ると暗いかもしれないけど、広い視野を持って前向きに考え社会に出たい。



子育てふれあいセンター



ぽけっと視察



2月10日、子育てふれあいセンターぽけっとに視察へ伺いました。職員や実際に利用している子育て世代の方々の懇談もさせていただきました。

利用者からは、「母親同士の繋がりが情報交換の場として、ぽけっとが役立っている」「ベテラン指導員がいて安心でき、子どもが走り回れる遊具や同年代の子どもの交流も好評である」「駐車場が狭いこと」「利用時間が短いこと」など施設についての他、「不妊治療助成は助かった」「育児休業制度の見直しを求める」などの声がありました。

子育て世代の方々と、日々支援、サポートしていただいている職員の方々の声を元に、議会として町政課題の解決に向けて邁進して参ります。



下諏訪町議会懇談会

2月14日、下諏訪町議会懇談会が開かれ、初めて町民と議員が1対1で話し合う形式が取り入れられました。町の暮らしについて、さまざまな声が寄せられました。

町に移住して6年になる40代のご夫婦は、下諏訪が好きで移住したが、子育てをしていて思うことは、「兄弟が別々の保育園に通っていることが負担になっている」「親の大変さを考えて、もっと柔軟な対応をしてほしい」と願っていました。

また、50代、60代の女性はお子さん2人と暮らししており、子ども食堂を初めて利用して「とても感激した」「子どもや親が気軽に集まれる広場のような場所がもっと増えたらいい」「地域に安心して過ごせる場がほしい」と話して下さいました。

他にも、「物価が上がり、子育てにもお金がかかるので、支援を強めてほしい」「買い物に不便なので、大きなお店がほしい」といった意見や、「春宮前の道が狭く、人が多いので危ない」といった交通に関する声もありました。

1対1でお話しすることで、皆様から生の声を聴くことが出来、今後の活動に繋がっていきたいと思います。

この町に住んで思うこと

「出店者を温かく迎え入れてくれる町」

上諏訪で9年ほど美容師をやっていましたが、この度岡谷で美容室を経営していた母・姉と一緒に三人で新しく美容室をオープンしました。美容師になるに当たって母からは「何年かは外で腕を磨くように」と言われていましたが、元々地元志向が強かったのと、将来的には親を支えていこうと思っていましたので、地元での就職を選びました。都会に就職した先輩や同級生達の色々な話を聞くにつれ、自分は先生から色々任され、割と自由に仕事が出来た分、早く成長できて良かったと思います。

下諏訪での出店は「一からのスタート」になりますが、やはり家族一緒に働きたかったのと、下諏訪にはオープンな雰囲気があるし諏訪大社が好きなので、良い所に出店できて喜んでます。

町議会…（笑）、すみません、これまでは殆ど関心ありませんでした。特段希望があるわけではありませんが、基本景気の良い時代を知らない世代なので、地域全体が豊かで安心して仕事を続けられるようなまちづくりを目指してほしいと思います。（インタビューー 豊島）



ボトス
ヘアーサロン Pothos

左から 丸山霞(本人)、
西澤瞳(姉)、西澤芽生(姪)、
丸山美喜子(母)

丸山さん親子は七区在住
西澤さん親子は三区在住

～議長のつぶやき～



任期2年の役職が終わりを迎えました。祝辞と開会の挨拶の多さに思わずびっくりしたのが始まりでした。内容を考え、手短かに伝えることはなんと、難しいことか。改めて話すことの怖さを感じました。逆に、聞く側に回れば、上手いことを話す人には、心からの敬意とともに感動をいたしました。街づくりの手法を多く学びました。この先2年が行動の機会と捉えております。精一杯、働きたいと思います。

議長 樽川信仁

編 集 後 記

この2年間、「議会だより」を多くの方に見ていただけるよう、分かりやすく、見やすくすることを大切にしながら取り組んできました。委員会で何度も話し合いを重ね、試行錯誤しながら進めてきた日々はとても貴重な経験でした。次回からは新しい委員の皆さんが引き継ぎますが、これからも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。ご愛読いただいた皆様に心より感謝申し上げます。（高橋）

広報特別委員会

委員長 林 元夫	副委員長 竹元完奈
委員 高橋幸二	委員 大橋和子
委員 豊島健之	委員 野沢弘子

次回6月定例会スケジュール 6月3日(火)～(予定)

ぜひ傍聴にお越しください。
詳細は議会HPをご覧ください。



SNSはこちらからご覧ください



Instagram



Facebook